

課題に取り組む⑧

シリーズ～築く～

2010/11/7

初代教会の課題

- グループ間の不公平
- 異邦人クリスチャンも律法を守るべきか
- 伝道か育成か(パウロとバルナバの対決)
- 新しく生まれた教会の教育
 - 分派・不道徳・無秩序・混乱
 - 異教社会での信仰生活
- 迫害(殉教)
- 異端

現代の異端

■ 統一協会

- 文鮮明を再臨のキリストとし、十字架で挫折した神を救う
- マインドコントロール・合同結婚式・靈感商法

■ モルモン教

- 「モルモン経」を聖典とする多神教
- 完全な行いによる救いを目指す(律法主義)

■ エホバの証人(ものみの塔)

- 自分たちの教えに合わせた「新世界訳聖書」
- ハルマゲドン・強制伝道・輸血拒否

初代教会の異端「グノーシス」

- 「グノーシス」とはギリシヤ語で「知識」「認識」
 - ギリシヤ哲学の影響を強く受けた思想
- 人間は「グノーシス」を持つことで救われる
 - 人間の知性を過剰に評価
- 徹底的な「二元論」
 - 霊は純粹で善、物質は墮落した悪
- ゆがんだ創造論
 - 世界は下位の支配者たちによって創造され、統治される「広大な牢獄」

グノーシスの問題

- キリストは「グノーシス」をもたらした「覚醒者」
- イエス・キリストを受肉した神としない
 - 肉体は悪であるので、キリストは人ではない
- キリストは人のように見えただけ：「仮現論」
 - キリストが私たちと同じ人となり、私たちの身代わりとして罪を背負って十字架で死なれた、という最も重要な真理を否定した！
- かたよった信仰生活
 - 苦行禁欲か快楽主義か

異端がもたらしたものの

- 新約聖書(聖典)の成立
 - 信仰の土台となるものは何か
- 教え(教理)の確立
 - 神はこの世界を創造し、支配しておられる
 - イエス・キリストは人となられた神であった
 - キリストの十字架の贖罪死によって救われる
- 教会の自律
 - この世の模範となる人であり集まりであること

コロサイ2:8~10

「あのむなしい、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意しなさい。そのようなものは、人の言い伝えによるものであり、この世に属する幼稚な教えによるものであって、キリストに基づくものではありません。キリストのうちこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。そしてあなたがたは、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです。」